

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日より良い明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

- P2 「投資行動とパフォーマンス」で運用状況をチェック!
- P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください
- P5 1月もセミナーが目白押し。「セミナーでコモンズを体験しませんか!?!」



新年あけましておめでとうございます。

日本が世界から注目を集めた一年を経て、今までの株式投資歴で最高水準の利益を見た方々が少なくないと思います。これが、長期投資の醍醐味です。多くが株式投資に関心を持たない真冬のような時期からコツコツと投資を継続すれば、いずれ、春の時期に報われます。余裕を持って年末年始をお迎えできたことにお慶びを申し上げます。

さて、これからの展望ですが、アベノミクスの正念場は今年から始まると考えています。したがって、マクロ的要因で上昇する価格を追いかける市場から、個別企業の価値を見出す投資が有効な市場へと展開するのではないのでしょうか。

ご存じのとおり、コモンズ30ファンドの哲学は時代を超えて持続的成長が期待できる企業への長期投資です。目先の株価や足元の業績など「見える価値」を鑑みながら、企業の非財務的な「見えない価値」について投資委員会が下す判断によって投資されます。ポートフォリオのレベルアップには常に努めていますが、短期的な市場動向によって組入れ銘柄を大きく入れ替えるのが趣旨ではなく、非財務的価値の「見える化」の向上に従事することが要です。

このように、コモンズ30ファンドは「進化」が期待できる企業への投資ですが、一方、時代の機会創出に

渋澤と伊井の「今月の想い」

よって目に見える「変化」が期待できる企業への投資も有望です。これが、昨年末に設定したザ・2020ビジョン(<http://www.the2020vision.jp/>)です。2020は「変化」という「見える価値」を運用部の判断に一任しているため、30と比べると機動的なアクティブ運用で性質が異なり、両方を保有することで分散投資の効果が高まります。また、2020は小型株を含む、「変化」が持続的成長につながる可能性がある企業50社程度に投資しますので、30の銘柄発掘という親和性も期待できます。

2014年は甲午(きのうま)です。ぜひ、甲をかぶった馬のように壁を次々と突破する、エネルギーに溢れた一年にいたしましょう!

コモンズ投信株式会社
取締役会長
渋澤 健



※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

（2013年12月30日付）

基準価額	18,853円
純資産総額	4,113百万円
受益権総口数	2,182百万口

※純資産総額のグラフは6ページ参照

基準価額（税引前分配金を再投資したものとして算出）の騰落率

（2013年12月30日付）

1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.05%	3.02%	8.43%	41.71%	46.11%	94.56%

直近5期分の分配実績

第1期 (2010年1月18日)	第2期 (2011年1月18日)	第3期 (2012年1月18日)	第4期 (2013年1月18日)	
120円	130円	0円	200円	

投資行動とパフォーマンス

◎12月の組入銘柄（組入銘柄数、新規買付銘柄・全売却銘柄の有無）

12月末の組入銘柄は前月比変わらずの29銘柄となりました。「投資委員会（議長：CIO）」において、運用部（糸島・上野）は新規買付候補1社、全売却候補4社を提案しましたが、継続審議となっています。

◎12月のポートフォリオの構成比（株式組入比率）

12月末の株式組入比率は77.1%と前月末（11月末）80.1%から若干ウェイトを引下げました。残り2割強はキャッシュを持っています。26日、安倍首相は総理就任後初めて靖国神社を参拝。現職首相としては小泉純一郎氏以来、7年ぶりの参拝となりました。このため、中韓の反発による地政学的リスクがやや高まったと判断、30日（大納会）に中国にエクスポージャーが高い数銘柄の保有比率をやや引下げました。

◎12月の組入上位10社と投資行動

新規トップ10銘柄は「ホンダ」「丸紅」「三菱商事」「久光」「信越化学」「旭化成」の6社です。圏外になった銘柄は「ユニ・チャーム」「日東電工」「コマツ」「シスメックス」「クボタ」「ダイキン」の6社です。「日東電工」は株価下落等、それ以外の圏外5銘柄は地政学的リスクの高まりにより、一部売却しました。「ホンダ」は積極的に買い増しました。

◎12月のファンド月間リターンと個別銘柄の騰落率

ファンド月間リターンは0.05%の上昇となりました。当ファンドにはベンチマーク（比較指標）はありませんが、同月のTOPIXは3.47%上昇しました。ファンド月間リターンが小幅に留まったのは、①「日東電工」「ユニ・チャーム」「シスメックス」「資生堂」等が前月比下落したこと、②一部キャッシュを持っていたこと、等によるものです。

◎運用・調査体制について

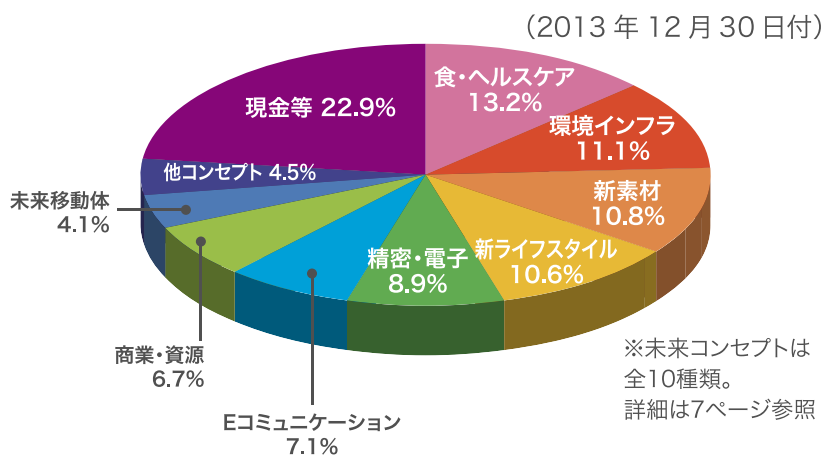
7ページ目をご参照下さい。

運用部長・チーフポートフォリオマネジャー 糸島 孝俊

ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	77.1%	-3.0%
現金等	22.9%	+3.0%
構成銘柄	29社	±0社

未来コンセプト別構成比



組入上位10社

(2013年12月30日付)

企業名 [コード]	未来コンセプト	概要
ホンダ [7267]	未来移動体	お客さまに自動車のみならず、夢の詰まったモビリティ(移動体)を適正価格で提供します。歴史的に難局に強く、創業から脈々と流れるチャレンジ精神で、持続可能な成長を遂げています。
カカココム [2371]	Eコミュニケーション	価格.com(家電比較サイト)、食べログ(レストラン口コミサイト)など、利用者3,000万人以上のサイトを複数運営しています。今後も、インターネットユーザーの利便性を最重視し、旅行、不動産、映画など、新規領域での事業開発が期待されます。
楽天 [4755]	Eコミュニケーション	社内公用語の英語化、海外企業買収など、成長に向けた強い意欲が際立ちます。社員による店舗サポートが強みで、理念の共有、教育等の人的資産投資を積極的に行っています。
丸紅 [8002]	商業・資源	相対的に資源比率が低いことが特徴の一つです。バリューチェーンを構築し、景気の影響を受けにくいトレーディングなど、安定した収益体制を確立しています。特に、食料(穀物)、電力(新興国での発電)などの事業領域に強みを持っています。
三菱商事 [8058]	商業・資源	地球規模の視点で、事業(非金融)と投資(金融)を組み合わせという世界でも稀な事業モデルです。三菱三綱領をベースに、長期持続的成長を意識した経営を志向しています。引き続き世界経済の成長を享受して、成長を続けるとしています。
久光製薬 [4530]	食・ヘルスケア	患者や医師の声をよく聴き、主力製品モーステープは発売後数十回にわたり改良を重ねるなど、継続的改善の文化を持っています。貼付剤は経口剤にない利便性や効用が認められ、鎮痛剤から他の治療薬に広がると考えられています。
信越化学 [4063]	新素材	収益に対しての執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエハなどの先端テクノロジーの双方で高いシェアを獲得しています。
ローソン [2651]	新ライフスタイル	栄枯盛衰が激しく、成熟企業が稀有な小売業において資本政策、ガバナンスを意識した質の高い経営を実践しています。人口減、高齢化等の環境変化に対応し、他業態や海外展開を試行錯誤しながら、持続的な成長を目指します。
旭化成 [3407]	新素材	化学繊維事業から医薬・エレクトロニクス事業へ事業構成の転換により、収益性の向上を目指しています。先進的な開発に取り組む文化を持っており、人工腎臓やリチウム二次電池用セパレーターなどは世界トップクラスです。
味の素 [2802]	食・ヘルスケア	日本の昆布だしから抽出した「うま味」を発見、世界の食文化に合わせた、調味料や加工・冷凍食品、飲料などを提供しています。2050年の世界人口90億人時代を見据え、東南アジア、中南米、アフリカで販売ネットワークを構築、ネスレ、ユニリーバ、ダノンを追いかけています。

新規組入投資先

なし。

今月のピック！

12月のコモンズ30銘柄では、日東電工がマイナス14.9%と大幅に下落しました。背景は、同社が12月11日に発表した、2014年3月期営業利益予想の下方修正が嫌気されたためです。同社は、営業利益を前回予想の840億円（前期比23%増）から、620億円（同9%減）に引き下げました。

テレビ用偏光板が、中国でのテレビ用液晶パネルの在庫調整の影響を受けて苦戦し、ITOフィルム（インジウムとスズの酸化物からなる透明導電性フィルム）も、スマホ・タブレット市場のスローダウンで販売数量が伸び悩み価格が下落したこと、等が背景です。

今後についても、中国のテレビ市場は、家電製品への補助金打ち切りの影響が続くとみられ、注視していく必要があります。

ただ、スマホ・タブレット市場は、中期的に成長が期待できるうえ、軽薄短小化に伴い電極材料のガラスからフィルムへの置換も可能とみられます。同社のエレクトロニクス関連以外の成長余地も大きいと考えています。

コモンズでは、日東電工について、長期の視点で、変化し、進化する会社ととらえています。成長が期待される医療向けなどで固有の技術をベースに、シートやフィルムに付加価値を加えた製品の成長などが期待されます。

運用部・シニアアナリスト 上野 武昭

投資先の主なニュース

日付	銘柄名	ニュース
12月17日	ローソン	日本経済新聞社と日本IR協議会は16日、「IRカンファレンス2013」を東京都内で開きました。「IR優良企業賞」の大賞に選ばれたローソンの新浪剛史・最高経営責任者（CEO）は「見えないリスクについての情報開示に積極的に取り組みたい」と語りました。
12月19日	ホンダ	ホンダは19日、新型多目的スポーツ車（SUV）「VEZEL（ヴェゼル）」を発表しました。まず国内で20日に発売します。売れ筋と想定するハイブリッド車（HV）は軽自動車並みの燃費性能を実現し、販売価格も219万円からとSUVのHVでは最も割安に設定し、軽自動車に流れる顧客も取り込みます。20歳～30歳代の若者層らに売り込み、ホンダブランドをけん引する基幹車種に育てます。
12月25日	資生堂	資生堂は24日、マーケティング統括顧問の魚谷雅彦氏（59）が2014年4月1日付で社長に就くと発表しました。前田新造会長兼社長（66）は6月下旬の株主総会後に相談役に退きます。140年超の歴史を持つ同社で、役員経験のない外部の人材が社長に就任するのは初めてのことで、低迷が続く自社ブランドを再生するため、日本コカ・コーラ元社長で飲料のヒットなどで実績を残した魚谷氏の経験に託します。
12月27日	丸紅	東京証券取引所は26日、株主から調達した資金を有効活用し、企業価値を高めた上場企業を表彰する制度で、丸紅を大賞に選んだと発表しました。高い自己資本利益率（ROE）を達成するための取り組みが優れていると評価しました。
12月27日	エーザイ	エーザイは来年1月にてんかん治療薬「ファイコンバ（一般名ペランパネル）」を米国で発売します。ほかの薬との併用ができ、てんかん患者の発作を起きにくくする効果が見込めます。患者にとっては薬の選択肢が増え、薬による症状の改善が期待できます。日本でも2014年度に承認を申請する予定で、欧州でも販売国を増やします。
12月28日	ユニ・チャーム	ユニ・チャームは乳幼児用紙おむつでブラジルに進出します。来春からサンパウロ州の自社工場での生産を始め、スーパーなど1000店以上で富裕層や中間層向けに販売します。これまでアジアを中心に新興国を開拓してきましたが、事業地域を成長の続く中南米にも拡大、世界シェアを2016年度までに8%から10%に高め、先行する米プロクター・アンド・ギャンブル（P&G）などを追います。

メディアに登場！

日付	掲載メディア	内 容
12月 2日	会社四季報	「会社四季報別冊・臨時増刊」にコモンズ投信とコモンズ30ファンドが特集されました。
12月16日	日経新聞電子版	「コモンズ投信、20年までの成長期待企業に投資」でザ・2020ビジョンが取り上げられました。
12月24日	日経新聞電子版	「株式会社FOCUS」の「日経平均6年ぶり1万6000円台回復 今後の展開は 市場関係者に聞く」にチーフポートフォリオマネジャー・糸島のコメントが掲載されました。
12月24日	日経マネー	2014年2月号の「1億人の投信大賞」でコモンズ30ファンドが第3位に選ばれました。
12月25日	日本証券新聞	『「ザ・2020ビジョン」中期視点から“変化を買う”』という記事に伊井の話が掲載されました。

今月のSEEDCap情報「社会を良くする活動と一緒に応援しましょう！」



第5回社会起業家フォーラムの登壇者・白石智哉さん(<http://commons30.jp/seed/entree-y-2013>)が代表を務めるSIP(一般社団法人ソーシャル・インベストメント・パートナーズ)は、社会的事業を行う団体を資金と経営の両面で支援し、持続的発展と社会的インパクトの最大化を目的とする「日本ベンチャー・フィランソロピー基金」(日本財団と共同運営)をスタート。第一号支援先は、第3回フォーラムの登壇者・平岩国泰さん(<http://commons30.jp/seed/entree-y-2011>)が代表理事であり、2013年夏、「こどもトラストセミナー」を共催頂いた放課後NPOアフタースクールです。同団体の事業が、教育と福祉の両立だけでなく、地域社会の活性化を促す大きな社会的意義があるものと評価された結果でした。SIPは同団体に対して、資金提供とともに3年間にわたって経営支援も行っています。詳しくは、是非こちらをご覧ください。

<http://sippartners.org/wp-content/uploads/2013/12/59c6bd2b08d129cd07ea3b13584f5219.pdf>

セミナーでコモンズを体験しませんか！？

セミナー名	日付	時間	場所
渋澤健との新春ランチ会	1月12日(日)	13:00～14:00	福岡県福岡市
「コモンズ30ファンド」と 新ファンド「ザ・2020ビジョン」 新春セミナー	1月14日(火)	19:00～21:00	東京都千代田区
	1月19日(日)	10:00～12:00	岡山県岡山市
	1月19日(日)	16:00～18:00	兵庫県神戸市
	1月23日(木)	19:00～21:00	東京都中央区
	1月25日(土)	14:30～16:30	神奈川県横浜市
	2月 6日(木)	18:00～20:00	宮城県仙台市
2014年最初のくつろぎBAR 【くつろぎ新年会】	1月14日(火)	21:15～23:00	東京都千代田区
はじめてのコモンズ(主に初級者向け)	1月18日(土)	14:00～16:00	コモンズ投信オフィス

※セミナーの詳細、お申し込みは弊社ウェブサイトまたはコールセンターからお願いいたします。

<http://www.common30.jp/seminar/schedule> 03-3221-8730 (コールセンター、平日午前9時～午後5時受付)

■ 今月のコモンズは！

皆さま、新年おめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

先月は大晦日の4日前に新ファンド「ザ・2020ビジョン」設定という大イベントが有り、多くのスタッフが連日早朝から深夜まで働くことになりました。苦労も多かった半面、全社一丸となり取り組んだことで「チーム・コモンズ」の素晴らしさを知ることができ、充実した形で1年を締めくくることができました。

また、12月はコモンズ30ファンドの報告と新ファンドのご案内という内容のセミナーを数回開催しました。渋澤と伊井も出来る限り出席し、いつも以上に丁寧な話を心がけた結果、「両ファンドの共通点と相違点が明確になり、新ファンドへの期待が高まるとともに、コモンズ30に対する理解が深まった」や「コモンズ投信の運用がぶれていないことがよく分かった」といったポジティブなお言葉を多数頂きました。

今月も多数のセミナーを行います。また、糸島は11日(土)12時5分からテレビ東京「マネーの羅針盤」、21日(火)～23日(木)16時から日経CNBC「ラップトゥデイ」に出演予定です。リアルでも画面上でも、コモンズの活動をご体験ください！

マーケティング部長 中澤 泰彦



日経CNBC出演の際の運用部長・糸島&曾根キャスター

■ お客さまの声

セミナー参加者からのコモンズへいただいたメッセージをご紹介します。



お客さま
女性

参加セミナー：はじめてのコモンズ

資産形成、運用や投信の歴史等わかりやすく教えて頂き、有難うございました。全く知識がなかったにもかかわらず、グラフや数字を板書頂き、理解ができました。セミナーを受けてから新聞記事でわからなかった金融欄に親しみを抱けるようになりました。貴社商材を筆頭にトライアンドエラーしながら金融について学んでいきたいと考えております。不明点あれば、セミナー申込を通じてなど御質問できれば幸いです。社会起業家と連携したセミナーにはとても興味がございます。



お客さま
女性

参加セミナー：「コモンズ30ファンド運用報告会」および「新ファンドのご案内」(名古屋)

以前に資料請求をしたものの、実態が不明確でしたので、申込には至りませんでした。今回の説明を受けて、十分に満足できました。



お客さま
男性

参加セミナー：「コモンズ30ファンド運用報告会」および「新ファンドのご案内」(東京)

「ザ・2020ビジョン」と比べることで、「コモンズ30ファンド」の特徴や両者の相違点などがよく分かりました。

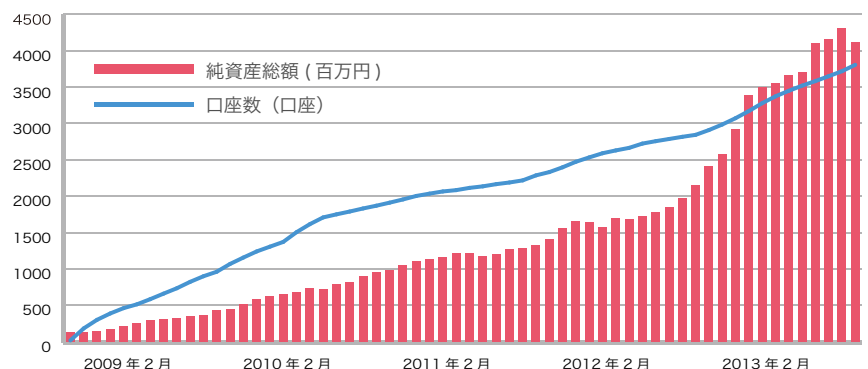
■ お客さまのデータ

(2013年12月30日付)

顧客数	3977人 (+88人)
うち積立	2630人 (+25人)

()内は前月比

■ 口座数と純資産総額の推移



コモンズ流投資判断

「投資委員会と運用部」

- 新規組入投資先と全売却投資先の決定は、投資委員会での全員一致が原則
- 30%を超える現金比率についても、投資委員会で判断
- メンバーと役割は以下の通り

伊井 哲朗	代表取締役社長 最高運用責任者	・投資委員会議長
渋谷 健	取締役会長	・非財務的な企業価値を含む経営の視点
糸島 孝俊	運用部長 チーフポートフォリオマネージャー	・新規組入・全売却の投資委員会への提案 ・組入先ウェイトのリバランス(1%~5%) ・現金比率の決定(30%以下の場合)
上野 武昭	運用部 シニアアナリスト	・新規組入・全売却の投資委員会への提案

「投資先選びのプロセス」



未来コンセプトについて

当ファンド独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

コモンズ流未来コンセプト10				
商業・資源	環境インフラ	代替エネルギー	新素材	未来移動体
精密・電子	食・ヘルスケア	新ライフスタイル	E-コミュニケーション	教育・娯楽

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年 1.2075% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。 なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用 ・ 手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の 0.105% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料(費用)等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※リスクの要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

信託設定日	平成21年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
収益分配	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

お問い合わせ先

■コールセンター（受付時間／平日 9時～17時）

03-3221-8730

■メール

commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第 2061 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階